

大曽根北町地区防災計画

●対象とする区域：

大曽根北町会の区域（マンハイム八潮）



令和6年3月 第1版

団体名： 大曽根北町会地区防災会

1. 地区の概要

(1) 地区の特性

① 自主防災組織の区域の状況

- ・世帯数：106 世帯 ※自主防災組織加盟世帯（令和5年4月現在）
- ・人口：約 190 人（令和6年2月現在）
- ・支援が必要な人：0 人 ※避難行動要支援者登録のみ（令和6年2月現在）

- ・一時的に身の安全を確保する場所（指定緊急避難場所）

地震	水害
大原小学校	大原小学校・八幡小学校

- ・自宅で生活できなくなった人同士が共同で生活する場所（指定避難所）

地震	水害
大原小学校	大原小学校・八幡小学校

- ・町会・自治会の土地の高さ（標高）は 約 1.9 m
- ・町会・自治会内に狭い道路（道幅4mに満たない道路）が、ある ・ ない

② 想定される災害

- ・【地震】今後30年以内に70%の確率で発生すると想定されている東京湾北部地震において、当地区の震度は 6弱 ・ 6強、全壊率は 5.0%以上7.0%未満、液状化の可能性は 高い ・ やや高い ・ 低い ・ 極めて低い が予想されます。
- ・【水害】氾濫した場合に最も浸水範囲が広い、利根川が氾濫した場合において、当地区の浸水深さは 0.5m以上3m未満、浸水継続時間は 168 時間（7日間）が予想されます。
- ・過去に発生した災害と被害

2. 備蓄品リスト等

(1) 備蓄品リスト

①集会室

No.	品名	数量	単位	消費期限 備考
1	美味しい防災食 さば味噌煮	7	ケ	2024/1/31
2	飲むおんせん 1500ml	106	本	2025/3/17
3	防災リュック	1	ケ	人間背負い 搬送用
4	メガホン	2	ケ	
5	ガス炊飯器	2	ケ	
6	ブルーシート	6	枚	
7	簡易トイレ	4	ケ	組立式
8	簡易トイレ(サニタクリーン)	64	ケ	1枚入り
9	携帯ミニトイレ プルプル	10	ケ	
10	ワンタッチ トイレ	15	ケ	組立式
11	ベンリー袋 (トイレ袋)	80	枚	5枚入り
12	水電池	16	箱	10ヶ入り
13	マルチパワー ランタン	10	ケ	
14	防災ラジオ	2	ケ	ソーラー&手廻し
15	多機能 ラジオライト	1	ケ	
16	救急三角巾	16	枚	特大
17	防塵マスク	180	枚	
18	折りたたみ 液体容器	10	ケ	容量 5リットル
19	ブランケット	289	枚	シルバー 防寒保温シート
20	スーパー保存水	2	本	期限切れ 2018/2/28
21	炊き出しセット 五目ごはん	50	ケ	期限切れ 2018/5/31
22	豚汁 20人前	2	缶	期限切れ 2022
23	非常食 3日間満足セット	3	セット	期限切れ 2022
24				
25				

②トランクルーム1 (右手前)

No.	品名	数量	単位	消費期限 備考
1	テント	5	基	
2	ブルーシート	2	枚	
3	蛍光ばん	2	ケ	
4	組立式 コンロ	2	ケ	
5	トイレパックⅡNeo	1	ケ	
6	トイレパックⅡ専用 凝固剤セット	600	ケ	100×6
7	ワンタッチ テント	16	ケ	トイレ・更衣室等利用
8	LOGOS どこでもルーム	8	ケ	
9				
10				

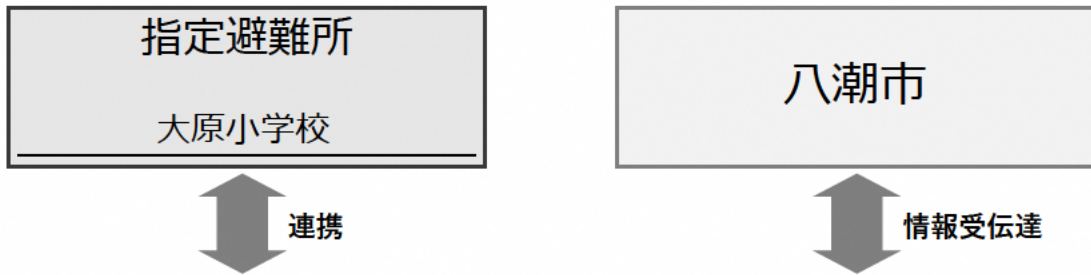
③トランクルーム4（左奥）

No.	品名	数量	単位	消費期限 備考
1	木炭	1	箱	半端
2	BBQコンロ 75型	1	台	
3	BBQコンロ	2	台	
4	大型 ガスコンロ	1	組	
5	屋外用照明	6	ケ	
6	ライト	1	ケ	
7	延長コード	2	ケ	
8	ポリタンク	2	ケ	
9	金属ザル	2	ケ	
10	丸形 プラスチックザル	4	ケ	
11	四角 プラスチックトレイ	8	ケ	
12	炊き出し用 ずん胴	1	ケ	
13	ホットプレート	1	ケ	
14	洗濯カゴ	1	ケ	
15	ポリバケツ	2	ケ	
16	脚立	1	ケ	
17	ガス線	1	ケ	
18	腕章	15	ケ	マンハイム八潮管理組合 名入り
19	ヘルメット	15	ケ	
20	クーラーボックス	1	ケ	
21	手動ポンプ	1	ケ	
22	発電機	1	台	
23	台車	2	台	
24	鍋	3	ケ	
25	物干し竿	1	本	
26	トラテープ	1	巻	黄色と黒のロープ

(2) 倉庫等のカギの管理

施設	正	副
備蓄倉庫	防災会長	管理人室
集会所	防災会長	管理人室、管理組合理事長
指定避難所・門	各小学校	八潮市教育委員会
指定避難所・体育館	各小学校	八潮市教育委員会

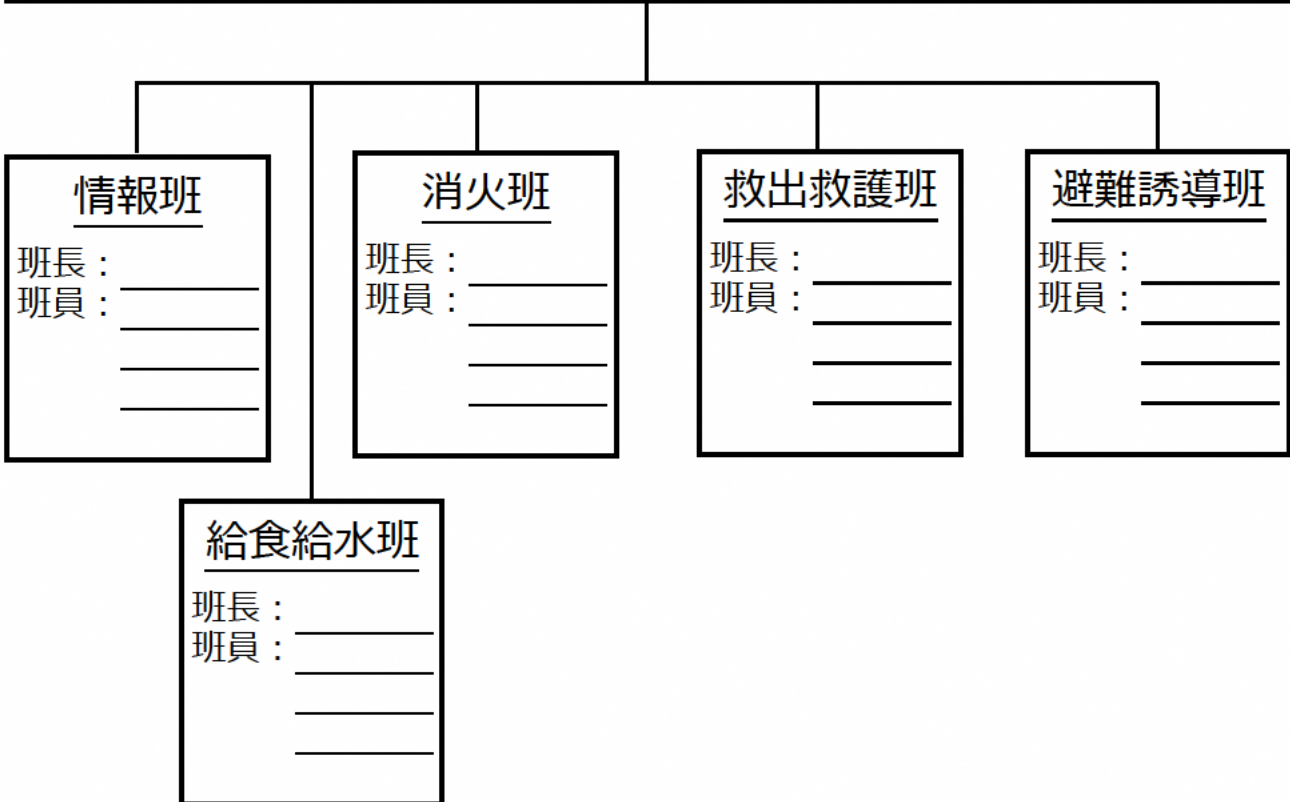
3. 活動体制



【自主防災本部】 <設置場所> 震災時： 集会室 水害時： 集会室

本部長：町会長	副本部長：副会長
氏名 _____	氏名 _____
電話 _____	電話 _____

本部員		
氏名 _____	氏名 _____	氏名 _____
電話 _____	電話 _____	電話 _____



※ホームページ公開用に「氏名」「電話」は削除しています。

4. 平常時・災害時の活動

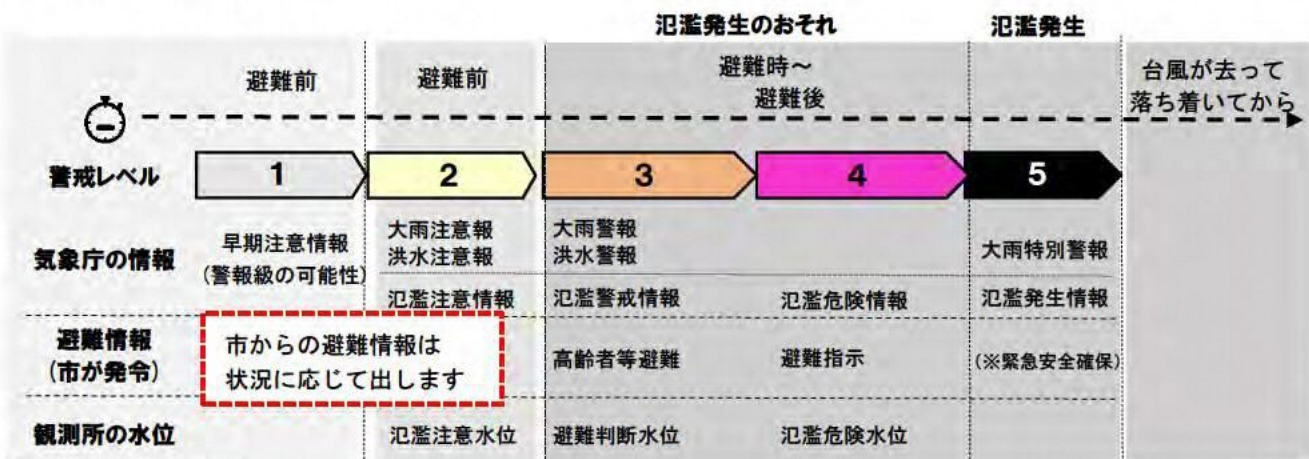
役職・班	平常時の活動内容	災害時の活動内容
全員共通	<ul style="list-style-type: none"> ・班編成 ・連絡体制の構築 ・訓練の計画、実施 ・地区の特性、想定災害の把握 ・危険箇所などの確認・周知 ・物資及び資機材の種類・数量・保管場所の把握 ・個人備蓄などの啓発活動 ・気象情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制の確認 ・安否確認
自主防災本部	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の必要人数、責任者及び担当の振り分け ・会長の補佐、代理の振り分け ・指定避難所や市との連絡方法の確認 ・近隣の団体と調整 ・自主防災組織班編成表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集（避難者の把握など） ・市や関係団体との連絡 ・自主防災本部の設置、運営 ・全体の指揮 ・会長の補佐、代理 ・各班の統括（班員の差配、班の再編など） ・避難行動要支援者名簿、安否確認票の準備 ・指定避難所開設運営の協力を指示
情報班	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集・共有・伝達 ・ニュースで防災情報を発信 ・近隣の他団体との事前調整 ・全体調整 ・当面の取組の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集・共有・伝達（報告活動など） ・他団体との調整 ・全体調整、被害・避難状況の把握
消火班	<ul style="list-style-type: none"> ・器具点検、防災広報 ・消火器等による初期消火 ・資機材、技術者との連携検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期消火活動 ・応急処理(修繕)の支援
救出救護班	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材調達・整備 ・ごみ処理ルールの検討 ・災害時のトイレの対策検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者などの救出、救護活動 ・ごみ処理の指示 ・防疫対策、し尿処理対策
避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> ・避難路、指定緊急避難場所、指定避難所などの確認 ・要配慮者の把握 ・危険箇所の確認・周知 ・警察との連絡体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導活動、安否確認 ・在宅避難者の把握 ・要配慮者の避難誘導・支援、安否確認 ・要配慮者の生活状況の把握 ・ブレーカー遮断の実施 ・危険箇所の巡回、立ち入り禁止などの広報 ・防犯・防火巡回活動
給食給水班	<ul style="list-style-type: none"> ・器具点検 ・個人備蓄などの啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・水、食料などの配分、炊き出しなどの燃料確保、給食、給水活動 ・物資の確保・輸送・配分、物資需要の把握

■時間経過にともなう活動のイメージ

【地震の場合】

役職・班	発災直後～数時間	発災当日～3日程度	3日～1週間程度	1週間以降
自主防災本部	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災活動の指揮 ○各班の統括（班員の差配、班の再編等） ○自主防災本部の設置・運営 ○市災害対策本部（広域避難地班）への被害報告 ○市指定避難所運営本部への参加 			
情報班	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の収集・共有・伝達（報告活動など） ○避難行動要支援者名簿・安否確認票の準備 ○世帯台帳・人材台帳の準備 ○市指定避難所運営本部との連絡調整 ○市災害対策本部（広域避難地班）からの情報収集 ○正確な情報提供によるデマ防止 ○他団体との調整 			
消火班	<ul style="list-style-type: none"> ○初期消火活動 ○消火活動人員の割振り、活動指示 ○消防署への連絡 		<ul style="list-style-type: none"> ○応急処理(修繕)の支援 	
救出救護班	<ul style="list-style-type: none"> ○要救出者の確認 ○救出人員の割振り・救出指示 ○搬送人員の割振り ○重傷者・中等症者の搬送 ○軽症者の応急処置 		<ul style="list-style-type: none"> ○食中毒・伝染病の予防 ○し尿処理対策の実施 ○ごみ処理の指示 	
避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> ○避難誘導の指揮 ○安否確認情報の収集 ○安否不明者の取りまとめ・指示 ○在宅避難者の把握 ○要配慮者の避難誘導・支援 ○要配慮者の安否確認の指揮 ○ブレーカー遮断の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○要配慮者の生活状況の把握 ○防犯・防火巡回、立ち入り禁止などの広報 	
給食給水班			<ul style="list-style-type: none"> ○備蓄物資の分配 ○炊き出し及び食料の調達 ○飲料水・生活必需品等の調達・分配 	

【水害の場合】



役職・班	避難前	避難時～避難後	台風が去って落ち着いてから
全員共通	○台風や降雨などに関する気象情報の収集 ○避難の準備 ○連絡体制の確認	○安否確認 ○在宅避難、垂直避難など注意の呼びかけ ◎避難所開設の判断 (市)	
自主防災本部		○避難行動要支援者名簿・安否確認票の準備 ○市や関係団体との連絡 ○自主防災本部の設置 (の判断)・運営 ○全体の指揮 ○避難所開設運営の協力を指示	
情報班	○台風や浸水対策などの情報発信	○被害・避難状況など情報の収集、共有、伝達 (各班の情報を自主防災本部へ報告)	
消火班	○資機材の確保	○避難行動要支援者の避難支援 ○在宅避難者の把握	○在宅避難者の生活支援
救出救護班		○避難行動要支援者へ避難準備の連絡 (声かけ)、避難の意思確認 ○避難行動要支援者の避難支援 ○在宅避難者の把握	○在宅避難者の生活支援 ○ごみ出し方法のルール化
給食・給水班	○物資の確保	○避難所開設運営	○炊出し、生活必需品等の調達・分配

5. 今後の活動を決める

No	現況	目標	どうやって (今後の活動)	誰が (担当)	いつ (実施)
1	防災会が知られていない	防災会を広める	・周知の方法と内容の検討	自主防災組織と管理組合	年に1度行う集会で周知していく
2	各戸でどのようなものを備蓄するとよいか分からない。	各戸で備蓄を行う	●かわら版の発行 ・水や食べ物は各家庭で備蓄 ・お勧めやあっせん品の紹介	自主防災組織役員	令和5年11月実施
3	コロナ拡大以降、防災訓練を実施できていない。以前は遊びを含む内容だった	実際に使える訓練の実施	●訓練の実施 ・「無事です」マグネットの用意	自主防犯組織	検討中
4	ペットのいる家が大原小に避難せざるを得ないケースが有り得る。	ペットのいる家の心配事を少なくする	●かわら版の発行 ・大原小に避難する場合の注意点の周知	自主防犯組織	令和5年11月実施
5	同じ階の人なら多少は顔が分かる	みんなが顔見知りになる	・階単位の連絡体制づくり ・町会イベントで交流	自主防災組織と管理組合	次回のイベント
6	備えるために、居住者に知ってもらいたいことがある。	防災知識を広める・深める	●かわら版の発行 ・消火器の場所の確認 ・簡単な防災アイデアの周知 ・何かできる人の募集	自主防災組織と管理組合	令和5年11月実施したが今後も継続していく
7	多くの班を作ることは難しい	最低限の体制の検討	・情報に関する活動を中心に、役員が本部を立ち上げ、その場で必要なことに対応	自主防災組織	未定
8	1階が水に浸かった時、1階の人の避難先がない	上階の人にご協力いただけるような体制を作る	・自主防犯、管理組合、町会の集まりにおいて顔の見える関係をより一層構築していく	自主防犯組織が中心となって	現実的かどうかの確認から



- | | | | |
|--|------------|--|-----|
| | 見る | | 市役所 |
| | 遊ぶ | | 消防署 |
| | 298 国道番号 | | 交番 |
| | AED | | 郵便局 |
| | 避難所(建物) | | 学校 |
| | 避難場所 | | 病院 |
| | 建物を備えた避難場所 | | 神社 |
| | 備蓄倉庫 | | 寺院 |
| | トイレ | | 図書館 |
| | 文化財 | | 信号 |



1 : 8000